

シリーズ「放課後子ども教室推進事業」

(初中教育ニュース (初等中等教育局メールマガジン掲載))

【第15回】

出町子どもかがやき教室 ～地域で育てる子どもたち～

富山県砺波市立出町小学校長 小 桜 豊 人

4月中旬、豪華な曳山車(ひきやま)の上で、子どもが力強く、時に優美に演じる歌舞伎の芝居。出町子供歌舞伎曳山車は、二百十余年にわたって砺波野に春の到来を告げてきました。また、砺波はチューリップの里でもあります。チューリップの花びらを使って、道路いっばいに描かれた花の絨毯。出町子どもかがやき教室の子どもたちは、歌舞伎の楽屋を訪問して顔料付けをしてもらったり、アートフラワーの製作体験をしたりします。

出町子どもかがやき教室は、平成16年度事業として平成17年1月、旧出町小学校校舎に開設しました。公民館、自治振興会、児童民生委員が中心となる運営委員会をおき、小学校、PTA、児童センター等と連携しながら、主に隔週月曜日の放課後に活動をしています。

子どもたちに生の体験をさせることを大切に企画される委員や指導員。それに、放課後児童クラブやPTAが協力することもあります。豊かな感性をもつ子、物がなくても遊べる子に育てたいとおっしゃるこれら関係者の創意は見事です。例えば、講師に招いた体育指導委員の指導ぶりを見て、これまでを振り返り、子どもの気持ちや力に合った遊びを工夫されるなど、試行錯誤する中で改善が次々と加えられていきます。

6月になると、砺波は夜高祭(よたかまつり)【※1】の季節です。夜高行灯の製作現場を訪ねる「出町たんけん」では、下絵の描かれる様子を見た子どもたちから感嘆の声が上がります。次いで出される質問の数々。最後に、子どもたちは元気に夜高節を歌います。

アンケートによれば、子どもたちは、この出町子どもかがやき教室によって、ほかの学年の人と遊ぶことがより多くなり、地域の人と話すことも増えたと答えています。本校には、表現力豊かで出町の好きな子が多いのですが、基盤にはこうした方々の力があります。そのことに感謝し、本校教職員もまた、地域の協力を得て、よく学びよく遊ぶ、かがやく出町っ子を育てたいと思っています。

【※1】夜高祭・・・豊年満作、五穀豊穰を祝う田祭り。

(初中教育ニュース (初等中等教育局メールマガジン) 第108号に掲載)